

# つるぎ町コミュニティーバス実証運行事業

自治体情報 徳島県 つるぎ町  
人口 / 11,047人 標準財政規模 / 5,725百万円

担当課 企画課  
電話番号 直通 0883-62-3114  
実施主体 つるぎ町地域公共交通活性化協議会（法定協議会）  
関連ホームページ  
事業期間 平成21年度から平成23年度まで  
関係施策分類

## 予算関連データ

総事業費：9,847千円

名称	所管	金額(千円)
地域公共交通活性化・再生 総合事業補助金	国土交通省	4,895
一般財源	-	4,952

## 施策のポイント

既存の路線バスの運行と連携したコミュニティーバスの実証運行により、山間集落の住民（特に高齢者）の利便性向上と、路線バスの利用促進の両面において、成果があがっているところである。

## 施策の概要

### 1. 取組に至る背景・目的

本町の路線バスは、地域住民の身近な交通手段として重要な役割を担っているが、その運行経路が幹線道路のみであるため、バス停から遠い山間部の住民には利用し辛く乗客数も低迷している。その対策として、山間集落の住民、特に高齢者の利便性を確保するとともに重要な交通手段である路線バスの利用促進を図るため、山間集落と路線バスの停留所間を結ぶコミバスの実証運行を実施するものである。

### 2. 取組の具体的内容

#### (1) つるぎ町コミュニティーバス実証運行の実施

バス路線から離れている町内山間地域のうち、事前に行った利用希望調査等により選定された18箇所の集落と既存路線バスの停留所間に、路線バスの発着時刻と連絡した10人乗りのコミュニティーバス3台を運行するものである。

運行は平日のみで、各選定地域毎に1ヶ月あたり3～4回、朝と夕方の各1往復を運行しており、運賃は1回につき100円としているところである。

#### (2) 利用者ニーズを反映した利便・効率性の高い公共交通の構築

JRと路線バスの乗継ぎ利便性を向上させるため、JRの運行に合わせたダイヤ設定とするほか、病院、買物等の利用者がより利用しやすくなるよう、住民の意向を把握しながら関係者で協議検討し、路線バスの運行時刻等を調整するものである。

### 3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

高齢者の通院・買い物等、日常生活の利便性向上と路線バスの利用促進の二つの面での効果を想定していたところである。事業開始前には、1日につき、1台のバスで4人の乗客が利用することを目標としていたところである。

### 4. 現在までの実績・成果

#### (1) 平成22年度のコミュニティーバス実績

- ① 運行期間：平成22年6月から平成23年3月までの10か月間
- ② 運行日数：延べ585日
- ③ 利用者数：延べ2,684人、平均利用者数4.6人/日/台

#### (2) 平成22年度の路線バス実績

- ① 運行期間：平成21年10月から平成22年9月までの12か月間
- ② 利用者数：24,433人（対前年度比504人増＝平成22年6月から9月の4か月間のコミュニティーバスの運行による効果）

### 5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦勞した点とその対処法・解決策など

地元のタクシー事業者3社に対し、事前に事業内容の説明を十分に行うとともに運転業務の委託についても打診するなど、理解と協力をいただけるよう努めたほか、町内すべての山間集落を対象に、コミュニティーバスの利用希望調査を実施したうえで、運行路線を選定し、事業開始にあたっては各集落での説明会やチラシの配布等により、住民への周知徹底にも努めたところである。

### 6. 今後の課題と展開

コミュニティーバスの運行に対する住民の評価も高く、利用者数も増加傾向にあるが、路線バスの経営状況は、コミュニティーバスの効果をもってしても、なお厳しい状況にある。今後は新たな運行形態を含めた幅広い地域公共交通の検討を進めているところである。